

◆本庁舎移転を住民投票で決めよう！...次世代の未来の為に！

※まず、署名集め(9/1~10/1 実施) ←投票はまだ先！

松尾市長の「市役所移転」の強引な進め方にストップをかける為に、「鎌倉市役所移転を問う住民投票の会」が立ち上がり、住民投票実施に向けて動いています。まずは初めに、9月1ヶ月かけて行う署名集めで、約3,000名の署名を集めなければ投票は実施できません。

※署名できる人は？

- ・鎌倉市民の有権者である事
- ・署名は本人の自筆
- ・印鑑又は拇印が必要

◆市役所移転を問う住民投票の会

- 梶田/0467-23-0837
- 相川/090-6110-4016
- 森本/080-6520-1187
- 岩田/090-2153-4514
- ↑連絡先☎

署名集めの動きが無い地域の方は☎でお問い合わせ下さい。

※何処で署名できる？

- ①受任者が集めてまわります(自治会長さん達为中心)
- ②街頭で集めます(各駅近隣が中心になります)
- ③お店で集めます(只今交渉中、実施できるお店も募集中)

私も駅頭や街頭で署名活動をやらせて頂きます。後の情報はwebで発信します。

※署名集め“受任者”になってください！

”署名集め”は“受任者”にならないとできません。”受任者”は鎌倉市民の有権者であれば誰でもできます(公務員もOK) 上記電話までご連絡下さい！！

皆様、是非”委任者”になって頂いて、署名集めにご協力頂けたらと思います。

※事務局スタッフ募集→事務作業をやって頂けるボランティアスタッフも募集中。

◆市役所移転何が問題？

- ①災害に強い場所は嘘(かさ上げに莫大な費用)
 - ②交通環境が悪い(通勤費大幅増・周辺道路未整備)
 - ③建設費180億(全体で6~8百億？財政余裕ある？)
 - ④3万㎡必要ない(今12,560㎡、人口減るのに拡大？)
 - ⑤AI導入で行政大変革(職員数・面積等削減では？)
- この本庁舎移転は完全に“ありき”で進めてらいる、**利権誘導型政治**の典型的なやり口です。移転で誰が得をする？ツケを払うのは次世代です。是非、深掘りしてきちんと考えてご判断下さい。

住民投票で止めないと進んでしまいます。

問題が多い現在の方針は一旦立ち止まって考え直すべきです。

50年先まで使うのですから、皆が納得できるようにもっと議論をつくすべきです。**次世代にツケを残さない為にも皆さん真剣に考えて下さい。**

深沢開発、圧倒的多数の要望はスポーツ施設だったのでは？

鎌倉市議会・〒248-8686 御成町18番10号 (完全無所属)

電話 0467-23-3000(市役所代表) 自宅:極楽寺 2-6-10-201

110号3期目11号(本庁舎水害) 鎌倉市議会議員・長嶋竜弘



我人に媚びず
富貴を望まず



長嶋HP↑
署名活動の情報をリアルタイムで発信します。

稲村ガ崎小学校卒
御成中学校卒
茅ヶ崎高校卒
和光大学卒
元(株)西友社員
鎌倉情報館管理人

✉ kamakurasi@gmail.com

◆広報かまくらはフイクニュース...また、騙された！

災害に強いまちを目指して本庁舎は“深沢地域整備事業用地”に移転すると5/1日号広報に記載されていた。しかし、、、。

本庁舎移転予定地は **災害に強く無かった！**



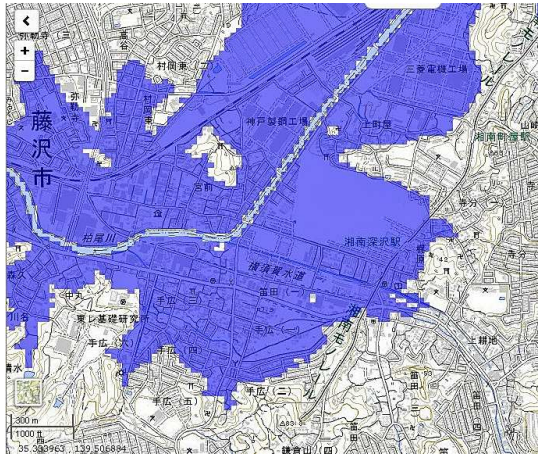
↑ 広報では深沢本庁舎移転予定地は浸水区域外
→しかし、違っていた 続きは裏面→

←8月1日広報かまくら掲載ハザードマップ(平成28年11月4日HP最終更新)

←このマップでは深沢本庁舎移転予定地は **河川の洪水内水浸水区域に入っていない。**

←右上に最新情報は県HPをご覧くださいとリンク掲載してごまかしている。

市役所が騙す訳ない？公務員が嘘つく訳ない？普通そう思います。
トンデモナイ。嘘、騙し、隠蔽、当たり前なのが今の鎌倉市役所。昨今
はニュースで他の事例も取り上げられますが鎌倉市役所も同様です。



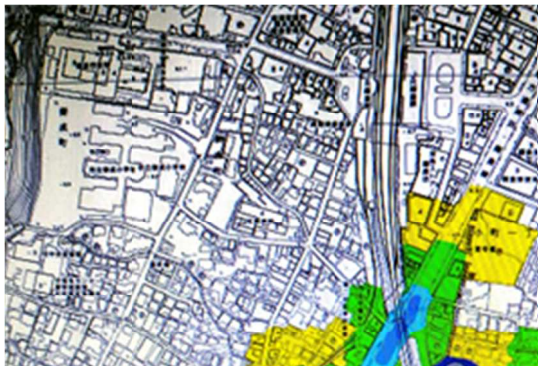
←平成 30 年1月 26 日告示、
神奈川県境川水系洪水浸水
想定区域図で薄い色の部分
が水深 0.5m~3.0m 未満区域
(移転予定地は真ん中)
←この想定図では深沢本庁
舎移転予定地は、洪水浸水
想定区域に入っている。

この情報が 1 月に公表され
ていたのに、隠して本庁舎移
転の話を進めていた訳です。



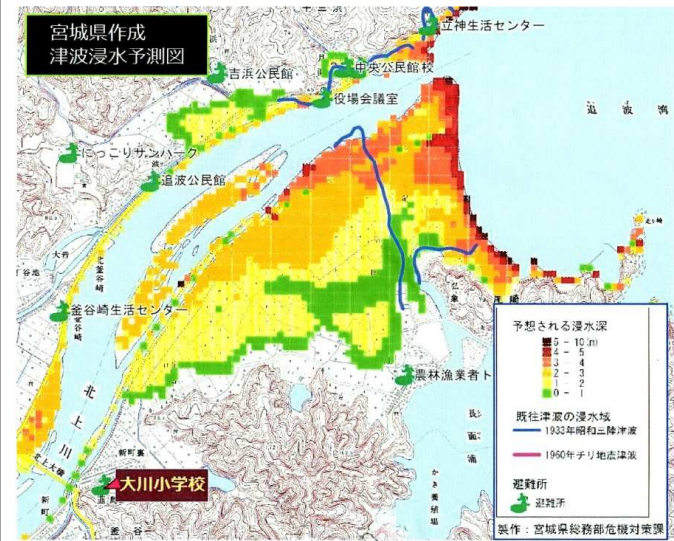
←更に、深沢本庁舎移転予
定地裏山は土砂災害警戒区
域になっている。

湘南町屋駅近隣では以前
大規模な崖くずれが発生して
いる。現庁舎も土砂災害警戒
区域になっているので対応策
は考える必要あり。



←現在の庁舎は河川洪水浸
水想定区域に入っていない。
津波と豪雨の災害に遭う頻度
は豪雨で災害に遭う頻度が高
いはずである。にもかかわらず、
豪雨災害は加味せず、現庁
舎は 14.5m の津波が来ると 50c
m浸水するので移転させると市
は言っている。

←下馬は浸水地域なので対
応策は考える必要あり。



◆津波の河川遡上

多くの犠牲者を出した
石巻市大川小学校は、
宮城県の津波浸水予測
図では浸水しないエリア
になっていた(河口から 4k
m地点で避難所に指定
されていた)。北上川の
津波遡上は河口から 8km
の地点で高さ 424cm、49k
m地点で 11cm の記録。
この教訓から柏尾川津
波遡上を重視するべき。

現庁舎が津波で浸水する状況なら鎌倉は壊滅的な状態になる。その時深
沢地域整備事業用地は安全なのだろうか？宮城県事例のようにハザードマ
ップ上は深沢事業用地は津波浸水が無い事になっている。現在の計画では津
波の河川遡上は考慮されていない。↓都市整備部資料にはこう書いてある

七里ガ浜浄化センターまで約1km、海拔約25m、山崎浄化センターまで
約8km、海拔約10mであることから、津波による影響を受ける可能性
処理場、污水ポンプ場、幹線管渠等の津波対策が必要



◆支流の氾濫
柏尾川には多くの
支流があり、
本流の水位が
上がって支流
等の水が流れ
出なくなる内水
氾濫が実は怖
いのです。
←梶原川河口
藤沢側から撮影
(津波注意看板)
梶原川側道→
道路整備も必要

